

シリーズ 優良事例紹介

交通事故防止!!

わが社の取り組み

第10回 株式会社秋田エスエス商運 (秋田県秋田市)

運送会社に強く求められる「安心感」 事故防止に磨きをかけて高い信頼を勝ち取る



交通事故・労災事故を未然に防ぐため、特にドライバー未経験者への教育に力を入れている



佐賀 晴樹 代表取締役

運送会社としての理想を目指すために「心得5原則」策定し日々の業務に活かす

「荒い」と感じるような状況でした。「走行時に法定速度を守らない」「一般の車を煽るなど危険な意識が薄い」といった状況は、昔からの運送会社では当たり前にみられた光景なかもしれませんが、私にとってはとも信じたものでした(佐賀社長) 佐賀社長は、こうした状況を改善させるため、運送会社としてあるべき姿を模索。その結果、会社全体として「安全」を5原則を策定した(表) 大事にすることを決断

ドライバーと同じ目線で安全指導 運行管理者が社員教育のキーマンに

佐賀社長が入社して最初に感じたのは、毎日、仕事の忙しさに追われて、違法精神も置き去りにされてきた現実だったという。「病院」といふことは、基本的にはコンプライアンスがしっかりとおり、職員も誠意をもって仕事に打ち込んでいました。しかし、当社ではドライバーのことを「怖い」

社内改革に取り組み、運送会社のドライバーは、荷主であるお客様から仕事をいただくことで、生活を維持することができず、地域住民からも愛される運送会社であることも大切だと感じています。お客様や地域住民に「この運送会社の車は安全運転をするので、安心だ」と思ってもらえることが、自社の経営継続に繋がってくるのです(同)

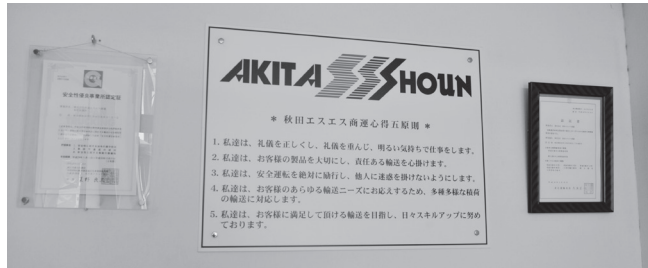


表 秋田エスエス商運 心徳5原則

- 心徳その1> 私達は、礼儀を正しくし、礼儀を重んじ、明るい気持ちで仕事をします。
心徳その2> 私達は、お客様の製品を大切に、責任ある輸送を心掛けます。
心徳その3> 私達は、安全運転を絶対に励行し、他人に迷惑を掛けないようにします。
心徳その4> 私達は、お客様のあらゆる輸送ニーズにお応えするため、多種多様な積荷の輸送に対応します。
心徳その5> 私達は、お客様に満足して頂ける輸送を目指し、日々スキルアップに努めています。

「広報とらつく」では、トラック運送事業者の各企業での優良な交通事故防止対策の様子を紹介しています。今回は社内環境の改善とともに安全への仕組みづくりを構築し、交通事故・労働災害事故の防止に取り組んでいる、秋田県秋田市の(株)秋田エスエス商運を紹介いたします。

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「朝早くから集まって朝礼を実施するようにした。朝礼を始めた当初は、「朝早くから集まって朝礼に参加するのは面倒だ」と考えるドライバーも少なくなかったが、佐賀社長が率先して行うようになったことで、ドライバーも「やらざるを得ない」という気持ちになつていったのだという。今では、心得5原則を完全に暗記したドライバーも少なくない。

「朝早くから集まって朝礼を実施するようにした。朝礼を始めた当初は、「朝早くから集まって朝礼に参加するのは面倒だ」と考えるドライバーも少なくなかったが、佐賀社長が率先して行うようになったことで、ドライバーも「やらざるを得ない」という気持ちになつていったのだという。今では、心得5原則を完全に暗記したドライバーも少なくない。

「朝早くから集まって朝礼を実施するようにした。朝礼を始めた当初は、「朝早くから集まって朝礼に参加するのは面倒だ」と考えるドライバーも少なくなかったが、佐賀社長が率先して行うようになったことで、ドライバーも「やらざるを得ない」という気持ちになつていったのだという。今では、心得5原則を完全に暗記したドライバーも少なくない。

「朝早くから集まって朝礼を実施するようにした。朝礼を始めた当初は、「朝早くから集まって朝礼に参加するのは面倒だ」と考えるドライバーも少なくなかったが、佐賀社長が率先して行うようになったことで、ドライバーも「やらざるを得ない」という気持ちになつていったのだという。今では、心得5原則を完全に暗記したドライバーも少なくない。

「朝早くから集まって朝礼を実施するようにした。朝礼を始めた当初は、「朝早くから集まって朝礼に参加するのは面倒だ」と考えるドライバーも少なくなかったが、佐賀社長が率先して行うようになったことで、ドライバーも「やらざるを得ない」という気持ちになつていったのだという。今では、心得5原則を完全に暗記したドライバーも少なくない。

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

「事故を起こしたドライバーは、同じような事故を起こさないようにするために何をしなければいけないのかを、身を以て知ることができたのです。頭ごなしに叱つてドライバーを委縮させるのではなく、事故を経験したことから得られた「気づき」を大切に、それを二度と忘れずに安全運転に努めてもらいたいと思っています(同)

企業プロフィール
社名 株式会社秋田エスエス商運
本社所在地 秋田県秋田市仁井田目長3-5-2
代表取締役 佐賀 晴樹
設立 昭和56年10月
資本金 1,240万円
社員数 66人(うちドライバー55人)
車両数 61台



同社は関東・東海・関西などへの一般建材・建設資材輸送を中心に手がけている

企業プロフィール
社名 株式会社秋田エスエス商運
本社所在地 秋田県秋田市仁井田目長3-5-2
代表取締役 佐賀 晴樹
設立 昭和56年10月
資本金 1,240万円
社員数 66人(うちドライバー55人)
車両数 61台